

## 平成28年度 第4回小樽市行政評価市民会議 会議概要

開催日時：平成28年10月14日（金）18時00分～20時00分

開催場所：小樽市役所別館4階 第3委員会室

出席者：

（委員） 議長1名、委員5名（4名欠席）

（事務局） 総務部企画政策室長 伊藤 和彦  
企画政策室主幹 安部 俊克  
企画政策室主査 今井 英之 佐藤 暢起

（傍聴人） なし

次第：

- 1 開会
- 2 協議事項 (1) 「報告書」の内容について  
(2) 次回の開催日程について
- 3 その他
- 4 閉会

配布資料：（当日配布）

会議次第、座席表、第3回会議概要

（事前配布）

平成28年度小樽市行政評価（施策評価）報告書（案）

（参考）平成29年度の行政評価市民会議スケジュール（案）

会議内容：

事務局：

＜委員4名が欠席されることを説明＞

議長：

＜開会挨拶。本日の進め方と報告書(案)の内容について、事務局に説明依頼＞

事務局：

＜報告書(案)等の資料の確認、会議の進行、報告書(案)の内容について説明・確認＞

議長：

・本日はこの報告書(案)の内容を実質的に固めてしまうことを予定しています。前回の会議では報告書の章立てや枠組みなどについて決めましたので、今回はその枠組み、構成に従って、中身や文言などを含めて内容について、1ページずつ、必要があれば説明を受けながら細かく見ていきたいと思います。その中で「こうしたほうがいいのではないか」といった意見も出していただければと思います。そのように進めてよろしいでしょうか。

＜一同、了承＞

議長：

・それでは、1ページ目の「報告にあたって」から見ていきたいと思います。  
・事務局の協力を受けて、私のほうで作成いたしました。署名については、市民会議一同としていますので、遠慮なく御意見をいただければと思います。

＜議長から「報告書あたって」の要点について説明＞

A委員：

・記載されている内容については、この通りだと思います。  
・ただし、会議の持ち方について、もう少し短い期間の間で集中的に一つ一つの課題を議論していくという形を取るべきではないかと思っています。「会議」と言う以上は、市と委員会との議論のやり取りができるような会議でなければ。説明を受けて多少の意見を申し上げるだけでは、十分な議論をしたということにはならないのかなど。討論が煮詰まって、一定の方向が示されることが大切ではないかと考えます。

議長：

・A委員の御意見ですが、後ほど、来年度のスケジュールや11ページの施策評価や市民会議の進め方のところで詳しくやりたいと思います。

**B委員：**

- ・報告書の（1 ページ目の）文案に関して言えば、簡潔にまとめられていると思いますので、こちらの文面で進めてよろしいのではないのでしょうか。

**議 長：**

- ・他の委員の方も、1 ページ目について意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

<一同、異議なし>

**議 長：**

- ・ひと通り進めた後に、お気づきの点が出てきたら後ほど確認いたしますが、ひとまず、「報告にあたって」については、これで固めたいと思います。
- ・2 ページ目の「目次」を飛ばしまして、3 ページから4 ページにかけて「第1章 平成28年度行政評価市民会議の実施概要」の要点について、事務局から説明してください。

**事務局：**

<「第1章 平成28年度行政評価市民会議の実施概要」の要点について説明>

**議 長：**

- ・第1章については、どのように進めてきたかというところですので、事実とずれているですとか、選定の仕方が正確に表現されていないですとか、そういった部分でお気づきの点や質問はございませんか。

<意見なし>

**議 長：**

- ・では、3 ページから4 ページの第1章については、一度これで固めたいと思います。
- ・それでは、5 ページからの「第2章 行政評価市民会議による意見提案の内容」の要点について、事務局より説明をお願いします。

**事務局：**

<「第2章 行政評価市民会議による意見提案の内容」5～7ページの要点について説明>

**議 長：**

- ・まず、「除排雪」の施策についてですが、5 ページ、6 ページについては、会議の時の資料ですので、7 ページについての検討が中心になるかと思います。5 ページから7 ページについて、いかがでしょうか。

**C委員：**

- ・「除排雪」の会議の時に欠席していたのですが、この報告書（案）の文章に「きめ細かな除排雪」と何度も出てきますが、この「きめ細かな除排雪」が、どういったことを言うのか、全く具体的に書かれていないので分からないのですが、市民から、この「きめ細かな除排雪」について聞かれたら、担当部局はどう答えるのですか。

**事務局：**

- ・具体的に挙げるとすれば、色々なことが想定されると思います。たとえば、7ページの「その他の意見」の中に、バス通りのすり鉢状の話が出ていますが、要するに、我々市民の生活にとって支障が極力無いように除排雪を進めるといったことではないかと思います。

**C委員：**

- ・文章にするのであれば、はっきりするべきだと思います。抽象的なことではなくて、自分達の考えている「きめ細かな除排雪」とはこういうものかというものに対して、市民が『それは、きめ細かとは言わないのではないか』という意見が出るかもしれないので、抽象的な表現で逃げてしまうのは、ここに書くべき事としては、どうなのかと思います。

**事務局：**

- ・そのような御意見も含めて、実際に施策を取り上げた会議の中でそういった意見が出ていれば、担当部局から説明があったり、また、それに対して意見のやり取りなどができたのでしょけれども、今は、その会議を終えて、結果を整理している段階です。
- ・そこで、もし、C委員の御意見について、この会議の中で、報告書に記載する意見として追加する、しないという議論をこの場でしていただければ、それに従って、載せるということを決めていただいても良いと思います。

**C委員：**

- ・私は、「きめ細かな除排雪」がどういうものを指しているかくらいは、載せるべきだと思います。これだと、何が「きめ細かな除排雪」なのか市民には分からないと思います。それを記載しても、会議の内容が変わってしまうというものではないと思います。

**事務局：**

- ・今の御意見は、当日の会議には無かった、新たな意見だと思いますので、これを、報告書に追加しても良いかどうかについて、この場での協議の対象となるのではないかと思います。その上で、追加するのであれば、追加する文言や、どこに追加するかといったことも含めて協議いただければと思います。

**議長：**

- ・『「きめ細かな除排雪」について、具体的に書かなければ分からないのではないか』という御意見についてですが、今日この場で出た意見ですので、報告書に追加するかどうかについて、この場で議論して決めて良いと思っています。
- ・ただ、今日は担当部局もいませんので、何が「きめ細かな除排雪」なのかということ、この場で議論することはできないと思います。
- ・2回目の会議では、事業の概要について担当部局の説明を受けながら、色々な事を工夫しながら取り組んでいるという印象を受けたと思います。「きめ細かな除排雪」の具体的な内容を確定させるような議論にはなりませんでしたが、担当部局から一つ一つ取組の内容を聞いて“きめ細かな除排雪の実施に向けた…”という表現にまとめたと思います。
- ・先ほどの意見を取り上げるとした場合、どのように反映するかということになりますが、C委員はいかがでしょうか。

**C委員：**

- ・担当部局がないところで申し訳ありませんが、昨年、初めて除雪の説明会に出席したのですが、『私道ということで、生活道路なのに除雪してもらえない』という意見が沢山出ていました。何年も前からそうした苦情をそのままにしておいて、何をもって「きめ細かな除排雪」と言うのか、生活に結びついた道路の除雪はそこに含まれていないのか、と感じましたので、具体的にどのような内容なのか知りたいと思ったのです。

**A委員：**

- ・会議の中でもバス路線の除排雪をしっかりしてほしいという意見も出ましたが、他にも、除雪の際に道路上にあるごみ堆積場所や消火栓を雪で塞がないようにするなど、行政として配慮することがあると思います。「きめ細かな除排雪」と言うのであれば、そういったことかと思っています。

**C委員：**

- ・担当部局がないこの場で「きめ細かな除排雪」の内容を示してほしいというわけではなく、『「きめ細かな除排雪」という言葉だけで持って終わらせるのはおかしいのではないかという意見があった』ということです。

**B委員：**

- ・7ページについては、我々委員の意見を集約したものだと認識しています。C委員の意見としてあるのであれば、「その他の意見」として載せるべきだと思います。

議 長：

- ・ 2回目の会議には出なかったとはいえ、今、会議の場に出ている意見ですので、報告書に記載すべきという意見があるのは当然だと思います。
- ・ C委員の意見を「その他の意見」として追加するということについて、他の委員の方もよろしいでしょうか。

<一同、異議なし>

議 長：

- ・ それでは、「その他の意見」として、『市は「きめ細かな除排雪」の内容を具体的に明確に説明すべきである。』を追加するということによろしいでしょうか。

<一同、異議なし>

<事務局が復唱し確認>

議 長：

- ・ それ以外に、修正や意見はございませんか。

<意見なし>

議 長：

- ・ では、以上で固めたいと思います。
- ・ 次に、8ページから10ページですが、「観光」の施策ですが、構成については、先ほどの「除排雪」と同じです。10ページについては、前回の会議での意見について記載していると思いますが、内容が違うですとか、表現がおかしいなど、何かお気づきの点はございませんでしょうか。

<意見等なし>

議 長：

- ・ 意見が無いようですので、一旦、確定として先に進みたいと思います。後ほど最後に全体を通して、もう一度確認させていただきます。
- ・ それでは、11ページに進みます。「全般的な意見等」ということですがけれども、要点について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

<「第2章 行政評価市民会議による意見提案の内容」11ページの要点について、来年度のスケジュール案とともに説明>

議 長：

- ・事務局から大きく2点について説明がありました。
  - 「全般的な意見等」の記載内容について
  - 来年度の会議のスケジュールについて
- ・記載内容の確認から進めたいと思います。来年度のスケジュールにも関わってくる部分もあるかと思いますが、「各施策に共通する意見等」と「行政評価（施策評価）や市民会議の進め方に対する意見等」について、何かありますでしょうか。

B委員：

- ・評価についてですが、調書ごとに各担当部局で評価判定をしていると思うのですが、この会議の中でも、行政サイドと市民感覚とのズレについて意見が出ていたと思いますので、市民会議としての評価があっても良いのではないかと思います。それが、いいのかどうかは、分かりませんが、市民目線での評価があっても良いのではないかと考えています。
- ・例えば、「観光」では、調書の「目標の達成状況」が“B”となっていますが、そのような評価を市民会議でやってもいいのではないかと。次年度以降の検討内容としてですが。

議 長：

- ・11ページの「施策評価の進め方等に関するもの」の意見に、入り得るものとも考えられますが、B委員としては、今年度の報告書に意見として載せるということではなく、来年度実施する際に検討すれば良いというお考えですか。

B委員：

- ・はい。

議 長：

- ・B委員の意見としては、来年度の評価のやり方として市民会議でも評価を加えてはどうか、というものだと思います。
- ・その上で、11ページの「市民会議の進め方等に関するもの」に意見として、追加して載せるかどうかということになるのですが、載せた場合と載せない場合で事務局として取扱いに支障などはありますか。

事務局：

- ・事務局としては、会議で出た意見ですので、はっきり載せていただいたほうが、よろしいかと思っています。

議 長：

- ・報告書に載せることについて、委員の皆様はいかがでしょう。次年度進めていく中で、「評価を入れる」とまで言い切らずに、「入れることを検討する」といった表現に留めておくのがよいかと思いますが。

<一同、異議なし>

議 長：

- ・それでは、『市民会議としても評価の判定結果を示す方法について検討すべきではないか』として、掲載場所については、「市民会議の進め方等に関するもの」に追加でよろしいですか。

<一同、異議なし>

議 長：

- ・11ページについては、一旦確定とします。
- ・この後、来年度のスケジュールについて検討しますが、市民会議の進め方にも連動してきますので、必要となれば、11ページに新たに追加等の整理をしたいと思います。
- ・事務局案では、決算により実績が調書に整理できる6月以降に評価を開始し、評価結果が次年度予算編成に間に合うように11月までに評価を終えたいということで、6月から10月まで合計5回実施となっておりますが、先ほどA委員から、開催期間が間延びしているのではないかと御意見もあったと思います。間隔については、議事録をまとめる等の作業期間があると思います。例えば、会議の間隔を短くするために、やり方を変えて議事録を後で整理するというところもあるとは思いますが、いかがでしょうか。

C委員：

- ・間隔については月に1回程度が適当だと思います。

D委員：

- ・私は、会議に参加して、市政について勉強させてもらっていると思っています。市には準備や説明など尽力してもらっていますので、無理に時間を省略するのではなく、今年くらいのペースで進めてはどうかと思います。また、委員の日程調整のことを考えても、月1回くらいが適当だと思います。



議 長：

- ・ A委員はいかがですか。施策を検討する1回目から3回目の間隔を短くすれば良いとお考えかと思いますが。

A委員：

- ・ そうですね。例えば、「学校教育」という施策は、多岐にわたっているので、1回や2回の会議で議論できるの难道うかと感じています。私は、ただ学力だけのことではなくて、未来の世代の教育をどのように考えるかということがテーマだと考えています。

議 長：

- ・ 今の御意見を聞きますと、1施策を1回の会議で済ませるやり方についても、検討が必要ではないかということだと思います。例えば、3回かけて1つの施策をやるやり方もあると思います。事務局案をベースにしますと、第1回の会議で、今年度できなかった「学校教育」の施策を評価することになっていきますので、2回目、3回目の会議をどうするかということになると思います。

D委員：

- ・ 来年度は任期の2年目になりますので、これまで会議で受けた説明や資料から学んだことも踏まえて、施策の希望を取り直してみてもどうでしょうか。
- ・ 例えば、総合計画は5つのテーマで構成されていますが、今年度を実施した施策は、その内の2つのテーマから選定したことになりますので、来年度は残りの3つのテーマの中から1つずつ取り上げて良いかと思いますが。

議 長：

- ・ 施策の選定については6月以前にもできると思います。施策の選定や進め方についての会議を、6月以前に開催することはできますか。

事務局：

- ・ 4月か5月にそのような会議を開催し、全体で6回の会議とすることは可能と思います。

議 長：

- ・ それでは、会議の回数については、施策選定等を1回目に行うとして、計6回で良いかと思いますが。
- ・ 会議の開催間隔等について、A委員の御意見についてはどうでしょうか。

**A委員：**

- ・「行政評価市民会議」ということで、大上段に構え過ぎていたのかもしれませんが、1回の会議だけでまとめるということでは、討論がほとんど無く、評価をするということに関して、おこがましいのではないかと感じています。会議を重ねていく中で議論を深める必要があるのではないかと感じています。

**事務局：**

- ・A委員のおっしゃるような進め方で、評価に取り組んでいる都市もありますが、本市の施策評価では、最終的な評価（二次評価）は市が行うとした上で、評価を決めるに当たって、市民の意見を広く取り入れたいという趣旨で始めたところです。自治基本条例にもありますように、市民の意見を聞きながら施策に反映させていくということでこういった会議を作ったという経過もありますので、次年度もこうした形で進めさせていただきたいということでの案としております。

**議長：**

- ・A委員が御指摘のように、今年度のやり方では各委員の意見をまとめるということしかできないので、例えば、施策数を減らして、委員同士でも議論をし、結果を判定としてまとめるということなども考えられます。
- ・そういうことで、来年度は6回の開催を予定して、1回目は4月から5月に開いて、会議の進め方や施策の選定などについて議論するということがよろしいでしょうか。

<一同、異議なし>

**議長：**

- ・来年度のスケジュールについてはそのようにしたいと思います。
- ・それを踏まえて、報告書（案）の11ページについては、先ほどの1点の修正以外に追加するものはありませんか。

<意見なし>

**議長：**

- ・意見が無いようですので、これで、報告書（案）の内容について一通り確認が終わったこととなりますので、事務局から報告書（案）の修正内容について読上げていただき、確認いたします。

事務局：

<読上げにより確認>

○7ページ 「その他の意見」末尾に追加

『市は「きめ細かな除排雪」の内容を具体的に明確に説明すべきである。』

○11ページ 「市民会議の進め方などに関するもの」末尾に追加

『市民会議としても、評価の判定結果を示す方法について検討すべきではないか。』

議長：

- ・今、確認した報告書の完成版は、次回の会議までに事務局から委員に送っていただけるということでよいですか。

事務局：

- ・はい。

<議長から、第5回市民会議の各委員の参加可能日程を確認>

<事務局から、欠席委員にも確認し決定する旨を説明>

議長：

- ・次回の会議の流れについて事務局から説明をお願いします。

事務局：

<第5回市民会議の進行についてなどを説明・確認>

議長：

- ・次回の会議の進め方について質問ありませんでしょうか。

<意見なし>

議長：

- ・ではこれで、第4回の行政評価市民会議を終了させていただきます。ありがとうございました。